

令和3年実施 町政懇談会の記録 (06 学校)

(朱書きは、後日回答するとしたもの及び補足して回答するものです。)

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (※印は、令和3年12月末までの対応状況です。)	担当課等
北川原	11月20日	06 学校	中学校部活動支援	<p>中学校の体育後援会で聞いた話だが、部活動のユニホームや道具の費用は、保護者、先生や校区の人からの寄附で賅われている。今年は、コロナ禍もあって思うように寄附が集まらず、後援会の活動が厳しい状況である。</p> <p>後援会費で賅うことが厳しいので、部活動の道具について町に負担してほしい。</p>	<p>体育後援会の活動費については、どの校区でも各家庭に寄附をお願いしています。</p> <p>町の部活動に対する支援についてですが、バレーボールやバスケットボールなどの道具については、学校の備品を部活動で使用しています。これら備品は、町の学校に係る事業費で負担しています。</p> <p>また、規模の大きい大会に出場する際の助成金は、他の市町と比較しても、松前町は多い額と認識しています。</p> <p>部活動は教育課程外の活動になりますので、町が全ての費用を負担することにはなりません。部活動をする生徒の保護者の負担を減らすため、地域全体で支援しようという考えで、体育後援会に頼っているのが現状です。</p> <p>後援会に過度の負担が掛からないよう、学校関係者にお伝えします。</p>	学校教育課
塩屋	11月20日	06 学校	青色パトロール防犯活動への支援	<p>青色パトロール防犯活動（以下「青パト」という。）で、青色灯を車に付けるための手続が面倒だという声が上がっている。青パトをしてくれる人も減少し、継続が難しい状況になっている。町はどのように考えているのか。</p>	<p>青パトは、ボランティア活動として始まった経緯があります。</p> <p>御指摘の青色灯の設置手続が面倒だという声もありましたが、子どもたちを守ろうという気持ちで始めた活動でありますので、青パトに参加されている方には、御理解いただいているものと思います。</p> <p>今後は、ガソリンの値段も上がっている状況でありますので、青パトの会議において協議させていただき、町としてもできる範囲で対応したいと思います。</p>	社会教育課
本村	12月4日	06学校	個別最適化学習	<p>学校教育に関することだが、児童生徒に、1人1台タブレット端末が配布されたことは、すばらしいことだと思った。しかし、今の使い方を見ると、皆が同じ問題をパソコンでやっているだけに見えるので、もう少し踏み込んで、パソコンやタブレット教育の在り方を考えてほしい。ユーチューブでも教育チャンネルが充実しているし、有料の教育コンテンツをダウンロードできる仕組みもある。これらを学校と提携すれば、伸びる子は伸ばせて、勉強が苦手な子はゆっくり勉強ができると思う。先生の負担も減るので、先生が足りていない支援学級にリソースを割けるようになるのではないかと。また、学習がスムーズにいくようになると、算数や国語ではない、地域に出て行って感性を育てるような教育に割ける時間も増えると思うので、是非検討していただきたい。</p>	<p>御意見の教育方法は、現在、国において審議されている「令和の日本型学校教育」において、最も指摘されている個別最適化の学習です。御指摘のとおり、個別最適化の学習を進めるための大きな手段がタブレット教育です。習熟度に応じて問題を解くことができるシステムが構築されていますので、児童生徒に応じた学習に適應できます。学校現場においては、児童・生徒に応じてどのようにタブレットを利用していくか模索中ではありますが、今後進めていくことと思っています。</p> <p>また、タブレット教育では、例えば、視覚に障がいのある児童・生徒に対しては、音声によるデジタル教科書の提供も可能になりますので、障がいのある児童・生徒の学習への適應も進んでいくことと思います。</p> <p>御指摘いただいた意見を参考に、学校現場と連携して進めていきたいと考えています。</p>	学校教育課